

やまもと 義

山本よしかず 県議会報告

山本県議の熱弁を傍聴しに八街から130名の方が県議会本会議場へ

千葉県議会の一般質問に八街市選出の山本義一県議会議員が登壇する時間にあわせ、市内交進地区社会福祉協議会関係者並びに支持者が集まり、県議会を傍聴されました。

当日、参加された130名は3台のバスに分乗して千葉県議会棟を目指し、午前8時30分過ぎに八街を出発し、山本県議が熱弁する雄姿を拝聴することができ、皆さんが有意義であったと語っておりました。

なお、山本県議は、質問に先駆けて近代八街の祖である西村郡司翁が私財を投じて、八街を築き上げた功績を称える企画展が八街市郷土資料館にて開催していることを紹介してから一般質問をされ、防災問題、商工会議所等の問題、農業問題、道路問題などの多岐に亘って質問されました。



西村郡司翁を紹介する山本県議



地元支援者に見守られ熱弁する山本義一県議



傍聴に訪れた地元支持者の皆さまです



執行部の答弁に対して再質問する山本義一県議



2月定例県議会自民党代表質問

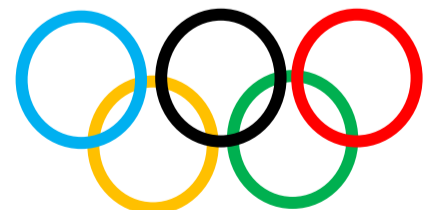
平成26年度当初予算の基本方針と重点施策は何か。

「くらし満足度日本一」を目指す基盤づくりの年と位置づけ、総合計画を着実に推進し、持続可能な財政構造の確立を目指す基本方針に基づき、『東京湾アクアラインの割引料金の継続、マラソン大会の開催』、『保育所や老人福祉施設の整備促進』、『医師修学資金の貸付枠の拡充』などに取り組むものです。

東京オリンピック・パラリンピック戦略推進本部はどのような姿勢で臨むのか。

大会推進を機に本県経済の活性化と持続的発展の基盤づくりを進める大きなチャンスと捉え、効果を次世代に引き継ぐための基本方針に向けた骨子を固めたところで、これを基に市町村や民間とともに「オール千葉」で基本方針策定に取組み、県内外のアクセスの向上を図るとともに、安心して周遊できる観光地づくりに努め、森田知事自らが先頭に立ち千葉をPRする方針です。

また、東京オリンピック・パラリンピックに千葉県出身者が多く出場できるようオリンピック関連イベントを盛り込み、全県的なスポーツ活動の推進に努めてまいります。



2020年に向けてオール千葉で..

いすみ鉄道と銚子電鉄の安全性向上に向けて、県も積極的に支援すべきと思うがどうか。

鉄道事業者にとって、安全で安定的な運行を確保することは重要事項であると捉え、県内中小鉄道事業者が行う安全性向上に向けた設備費に対する支援を実施しておりますが、加えて、平成26年度からは、銚子電鉄が行う線路や踏切設備の整備費等に対する支援を決定したところで、今後も安全運行に資する支援をしてまいります。



いすみ鉄道に揺られて

国の首都直下地震被害想定において、県はどのような対策を考えているのか。

本県では、大規模災害から自らの身を守るため、自主防災組織の育成や災害対策コーディネーターの養成、防災セミナーの開催などにより、自助、共助の取組を一層推進するとともに学校や橋梁等の耐震化を進めるなどの災害に強い街づくりに努め、また、災害時に備えて緊急情報を即時に提供できる体制整備や広域的な応援の受入れ計画の策定を行いつつ、備蓄物資の拡充を図るなど、応急対策を実施し、被害を最小限にとどめる防災対策に取り組めます。

袖ヶ浦福祉センターにおける虐待事件の検証を踏まえ、県社会福祉事業団が運営する施設の立入検査結果はどうか。

袖ヶ浦福祉センター養育園、更生園、アドバンスながうら等に対する立入検査で聴取と書類調査を実施しところ、過去10年間で職員15人の虐待行為と3人の虐待疑義が認められ、この情報を得た幹部の対策の不備があり、運営体制に多くの問題が明らかになったことを踏まえ、各関係者に対する厳正な処分を求めるほか、事業団幹部を刷新する追加勧告を行うなどの指導を行った。



東金市に4月から開院される東千葉メディカルセンターにて

新たな医師修学資金制度の目的と内容は何か。

現行の医師修学資金は4大学の医学生28名に対し、毎年、新規に貸付け、また、更なる医師確保のため、平成26年度から「ふるさと医師支援コース」を設けて県外医学部に通う本県出身者等に卒業後、本県の地域医療を担うことを目的に、医学生10名に月額15万円の修学資金を最長6年間貸与して、県内の医療機関で最長9年間勤務することで返還を免除するものです。

千葉県経済の活性化に向けて千葉の未来を支える産業の振興に、どのように取り組んでいくのか。

本県経済の持続的な発展のためには、社会情勢の変化に的確かつ迅速に対応できるよう、産業構造の重層化・多様化を図ることが重要となるため、圏央道等交通インフラの整備や京葉臨海コンビナート等の産業集積を活かすとともに、県内各地域の資源を磨き上げることによる起業創出など、本県のポテンシャルを最大限に活かす取組として、

- 「高齢化が進展する中での新しい社会ニーズを捉えた健康医療ものづくり産業の振興」
- 「研究開発機能を備えたマザー工場化や中小企業の再投資を支援する補助制度の創設」
- 「女性・シニアなど多様なプレイヤーによる起業・創業の促進」

など、「明日のちばを創る！産業振興ビジョン(案)」に掲げた、5つの施策の推進に努めてまいります。



本県における高速道路ネットワークの整備進展と航空機の発着枠30万回化に向けた機能強化が進む成田空港が結ばれると、千葉の優位性が格段と強化されることから、千葉ならではのダイナミズムや社会経済情勢の変化に応じた産業振興に果敢に取り組んでいただきたい。

千葉県農業のけん引役である園芸農業をはじめ、本県農業の振興にどのように取り組んでいくのか。

千葉県園芸協会や試験研究機関の拡充強化を図りつつ、関係機関等との連携により、マーケット需要に対応した産地づくりなどを強力に推進し、産地強化と高収益型農業への転換を図るために、

- 「主要野菜を大口需要者に安定供給するための産地間連携を推進」
- 「酪農等の飼料自給力強化に向けた飼料米などの生産拡大」
- 「生産の効率化を図るための農地集積や水田の基盤整備を推進」

多様な担い手を確保・育成するため、経営革新に挑戦する法人経営体や集落営農組織の設立支援などに積極的に取り組み今後とも県振興計画を着実に推進し、農業産出額全国2位の奪還を目指してまいります。

九十九里沿岸の津波対策の進捗状況と今後の見通しはどうか。

九十九里沿岸60キロのうち、津波対策が必要な29キロ区間内で最も津波被害が著しかった旭市などでは堤防工事を実施しており、また、平成26年度から有料道路のかさ上げなどを含めた沿岸の全てで本格的に工事を行うことで平成27年度の整備完成を目指しています。



旭市の復興住宅の建設現場にて

県はいじめ防止対策をどのように充実させていくのか。

平成26年度は、いじめの未然防止、早期発見の観点から教育相談体制を充実させるため、スクールカウンセラーの配置を小学校まで拡大するほか、配置時間を増やすなどの対策に努め、いじめ問題に関係する機関・団体との連携を強化するほか、保護者にも協力を求め、県民全体で取り組む体制を整えます。

平成25年中に起きた県下の交通死亡事故の発生状況と特徴、減少に向けた取組はどうか。

県内の交通事故が21,467件発生し、26,855人の方が負傷、うち186人が亡くなられ、前年よりも11人増えています。

特徴としては、歩行者が77人、四輪乗車中が45人、二輪乗車中が35人、自転車乗車中が29人で、特に、歩行者の死亡事故の約7割が夜間に発生しており、うち高齢者の死亡者が94人と全体の5割を超えています。

減少に向けては、薄暮時間帯の交差点関連違反の取締り強化、高齢者への交通安全指導及び運転免許証の返納を呼びかけるほか、歩行者・自転車に反射材の着用などを呼びかけ「3(サン)ライト運動」の強化、また、「春の全国交通安全運動」でも関連機関と連携を図り、特に、高齢者の事故防止に努めてまいります。



自身を守るため反射材を付けましょう



県道岩富山田台線と御成街道の交差点に信号機設置に向けて

東日本大震災から3月11日で3年が経ち

東日本大震災三周年千葉県・旭市合同追悼式が、同市横根のいいおかユートピアセンターにて挙行されました。会場へ向かう途中、応急仮設住宅脇に建設中の復興住宅並びに避難タワーを視察してきました。千葉県にも被災地が、また、被災者が前を向いて頑張っていることを忘れないでください。



ぴーちゃん・なっちゃん・ぼっちゃんに囲まれてご満悦の山本義一県議



応急仮設住宅の看板を見て...



三年経ても仮設生活か...



復興住宅を見つめて...



高さ、8メートルの避難タワー



ヨッシー君

☆ 千葉県や八街市に対してのご意見、ご要望をお聞かせ下さい。

山本よしかず 県議 事務所

〒289-1116 八街市中央20-11
TEL, 043(440)7070
FAX, 043(440)7030

3月9日(日曜日)、八街駅北口市にて

HPもご覧ください...

検索

ホームページ: <http://www.y-yy.jp/>